

令和5年度 鹿屋市市政モニター 第3回アンケート集計表

○テーマ：「ゼロカーボンシティかのや」の推進について

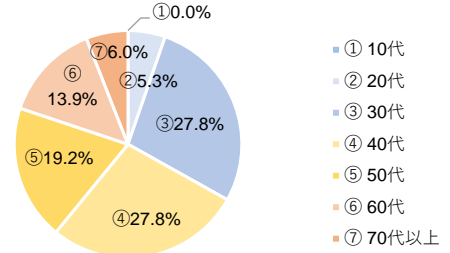
○調査期間：令和5年7月7日（金）～7月24日（月）

○回収結果：送付数 200人(市内168人、市外32人)、回答数 151人、回答率 75%

1 回答者の属性について【対象：回答者全員】

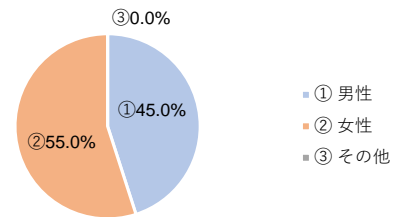
問1 年齢について

回答	件数	割合
① 10代	0	0.0%
② 20代	8	5.3%
③ 30代	42	27.8%
④ 40代	42	27.8%
⑤ 50代	29	19.2%
⑥ 60代	21	13.9%
⑦ 70代以上	9	6.0%
合計	151	



問2 性別について

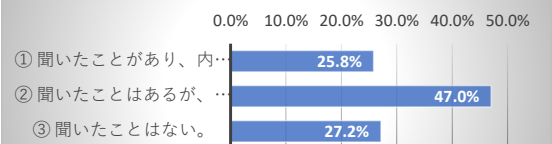
回答	件数	割合
① 男性	68	45.0%
② 女性	83	55.0%
③ その他	0	0.0%
合計	151	



2 前提となる情報について【対象：回答者全員】

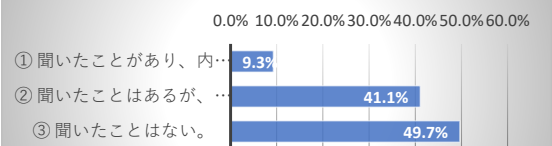
問3「2050年カーボンニュートラル」について

回答	件数	割合
① 聞いたことがあり、内容も理解している。	39	25.8%
② 聞いたことはあるが、内容はわからない。	71	47.0%
③ 聞いたことはない。	41	27.2%
合計	151	



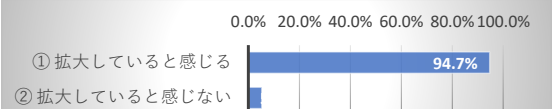
問4 市が「ゼロカーボンシティかのや」を目指していることについて

回答	件数	割合
① 聞いたことがあり、内容も理解している。	14	9.3%
② 聞いたことはあるが、内容はわからない。	62	41.1%
③ 聞いたことはない。	75	49.7%
合計	151	



問5 地球温暖化や気候変動による影響について

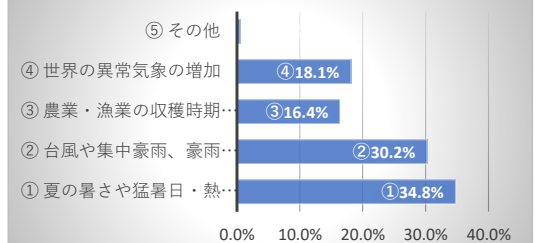
回答	件数	割合
① 拡大していると感じる	143	94.7%
② 拡大していると感じない	8	5.3%
合計	151	



【対象者：問5で「拡大していると感じる」と回答した方】

問5-1 なぜそのように感じますか。【複数回答可】

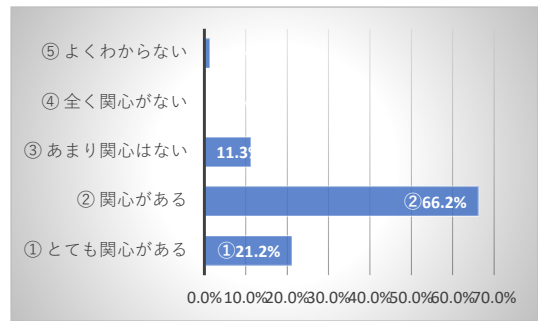
回答	件数	割合
① 夏の暑さや猛暑日・熱帯夜の増加	138	34.8%
② 台風や集中豪雨、豪雨被害の増加	120	30.2%
③ 農業・漁業の収穫時期等の変化	65	16.4%
④ 世界の異常気象の増加	72	18.1%
⑤ その他	2	0.5%
合計	397	



3 地球温暖化問題について

問6 地球温暖化問題について

回答	件数	割合
① とても関心がある	32	21.2%
② 関心がある	100	66.2%
③ あまり関心はない	17	11.3%
④ 全く関心がない	0	0.0%
⑤ よくわからない	2	1.3%
合計	151	



※回答の理由(主なもの抜粋)

【①とても関心がある・②関心がある】

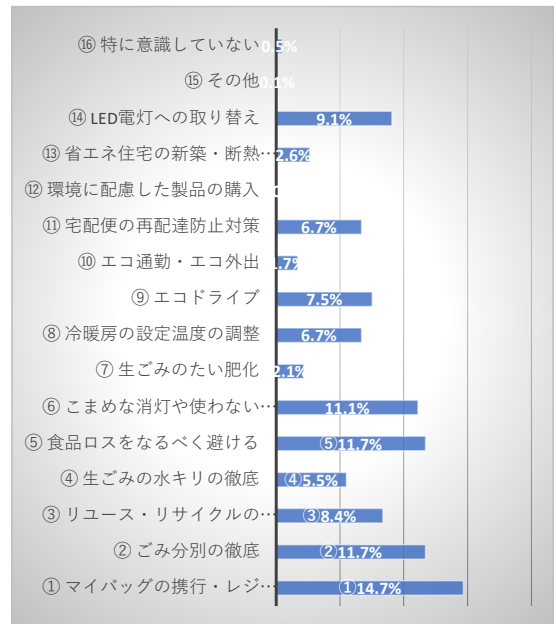
- エネルギー関連の仕事をしているため
- 災害の増加や気候変動により、世界が変わる可能性があることと危惧しているから。
- 生活に直結する問題であり、子供達の未来へも続く問題である為。
- 毎日、魚市場に行きますが、漁獲量が著しく減少している
- 子供や孫の世代まで、安心して住める環境にあるのだろうかという不安から
- このままでは地球が壊れてしまいそうなので。
- 自分自身は後どのくらい生きるかわからないが、これからの若い人たちが、生きていく中で、温暖化により住みにくくなり、そう遠くない将来、人間が生活できなくなる時が来ると思うから。
- 年々異常気象が目立つようになっており、自分達の子孫はどうなるのだろうか、心配になります
- 地球にいつまで住めるのか。私達の子孫に住むことが出来る地球を残すことが今生きてる人間の責任だと思います。
- 海は、磯焼けが進んでいます。年々、南方の魚が増えています。山や林では、低温を好む虫はだいぶ数が減りました。自然は、敏感で正直です。
- 国や県、市の政策が直接、自分たちの生活に関わって来るため
- 最近では当地 北海道でもエアコンが必需品になってきました
- ②温暖化対策は一部で取り組んでも効率的ではないので、地球レベルでの対策を本気で考え検討することが急務だと思うか
- ②このまま温暖化が進めば今からの人たちにどんな生活が待っているのか不安になる。緑溢れる環境、水や食べ物の心配のない世界であってほしいです。
- ②毎年日本各地、世界各地で異常気象が起こっているから。
- ②経済にも影響を及ぼす可能性も感じているし、これから生きていく子供達には、よりよい環境で生活してもらいたい。
- ②小学生の頃から地球温暖化が問題と授業などで学び、その重要性や深刻さを日々耳にするため。
- ②大学で環境科学を専攻しており、近年の異常気象が恐ろしく、子供達に安全な生活を送って欲しいと願うから。
- ②カーボンニュートラルの概念がプロパガンダやビジネスに先導されすぎと感じます。単に脱炭素を謳うだけでは持続可能ではなく、効果が限定されると感じます
- ②小学生から中学生時代の「県下一周駅伝」は毎年雪が積もっていた
- ②温暖化対策があれば行っていきたい 子供達が大人になった時、どういう環境になってるか心配だから。
- ②気温が高くなり、食べ物の産地が変わるのでと心配している。

【③あまり関心がない】

- ③何で判断するのか分かりません
- ③日常生活の事だけで地球問題まで考えてる時間が持てない
- ③地球温暖化の原因が本当に炭素の排出が大きな原因なのかがよくわからないため。もしかしたら超長期的な視点で見た時に地球自体の変化の時期にきているだけなのかもしれないと考え、今だけの取り組みで解決できるような問題とも思えない。
- ③自分に出来る事は限られているから
- ③身近な問題と捉えにくい。
- ③そこまで温暖化を感じてはいないし、地球規模で取り組まなければならないことが非現実的に感じる
- ③みんなが問題に取り組まないと成果があるのかわからないから
- ③個人の関心で改善できる問題でないと感じているからです。
- ③学生の頃の知識から新たな情報を把握していない
- ③関心というより出来ることをやるだけだから
- ③原因がはっきりしていないから。
- ③最近あまり話題に出ていないため

問7 以下は、日常生活の中で地球温暖化の防止につながるとされている配慮や行動の一例です。ご家庭で取り組んでいるものを選んでください。【複数回答可】

回答	件数	割合
① マイバッグの携行・レジ袋の削減	123	14.7%
② ごみ分別の徹底	98	11.7%
③ リユース・リサイクルの実践	70	8.4%
④ 生ごみの水キリの徹底	46	5.5%
⑤ 食品ロスをなるべく避ける	98	11.7%
⑥ こまめな消灯や使わない家電製品の電源オフ	93	11.1%
⑦ 生ごみのたい肥化	18	2.1%
⑧ 冷暖房の設定温度の調整	56	6.7%
⑨ エコドライブ	63	7.5%
⑩ エコ通勤・エコ外出	14	1.7%
⑪ 宅配便の再配達防止対策	56	6.7%
⑫ 環境に配慮した製品の購入	0	0.0%
⑬ 省エネ住宅の新築・断熱リフォーム	22	2.6%
⑭ LED電灯への取り替え	76	9.1%
⑮ その他	1	0.1%
⑯ 特に意識していない	4	0.5%
合計	838	



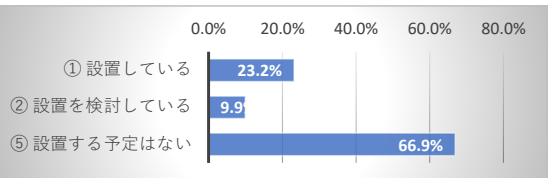
「⑧その他」の記載事項

○風通しのよい家にして もう5年間 エアコンを使っていません。運動をして発汗しやすい身体作り。添加物を避けて老化スピードダウン。夏を越すにも体力が必要です!

4 太陽光発電設備について

問8 ご家庭の太陽光発電設備(パネル)の設置状況について

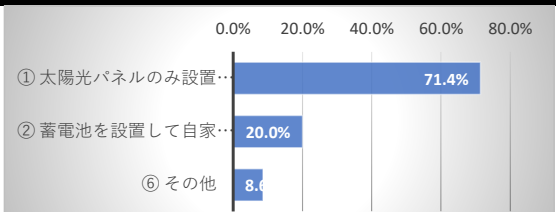
回答	件数	割合
① 設置している	35	23.2%
② 設置を検討している	15	9.9%
⑤ 設置する予定はない	101	66.9%
合計	151	



【対象者：問8で「設置している」と回答した方】

問8-1 太陽光パネルの活用状況について

回答	件数	割合
① 太陽光パネルのみ設置して余剰売電型	25	71.4%
② 蓄電池を設置して自家消費型	7	20.0%
⑥ その他	3	8.6%
合計	35	

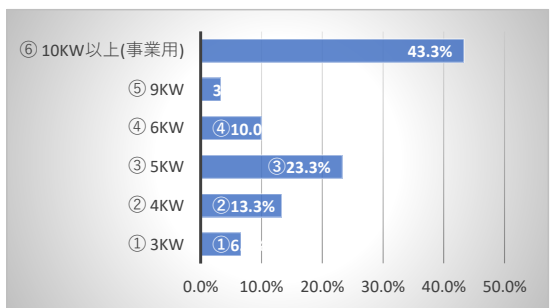


「⑥その他」の記載事項

○第三者所有モデルにて設置(PPA方式)
○全量売電(事業用)
○賃貸で借りている家にもともと設置してあったが、昼間ソーラーが使える時間に主に電化製品を使っている。

問8-2 太陽光パネルの発電容量の数値を入力してください。

回答	件数	割合
① 3kW	2	6.7%
② 4kW	4	13.3%
③ 5kW	7	23.3%
④ 6kW	3	10.0%
⑤ 9kW	1	3.3%
⑥ 10kW以上(事業用)	13	43.3%
合計	30	



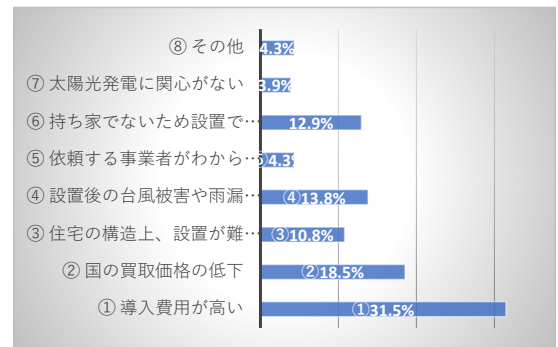
問8-3 蓄電池の定格出力の数値を入力してください。

回答	件数	割合
① 6kW	1	
② 9kW	1	
③ 14kW	1	
④ 98kW	1	
⑥ 400kWh(?)	1	
合計	5	

【対象者：問8で「設置を検討している」「設置する予定はない」と回答した方】

問8-3 太陽光パネルの設置を検討する際の問題点、または設置しない主な理由、不安な点を選んでください。
【複数回答可】

回答	件数	割合
① 導入費用が高い	73	31.5%
② 国の買取価格の低下	43	18.5%
③ 住宅の構造上、設置が難しい	25	10.8%
④ 設置後の台風被害や雨漏り被害が心配	32	13.8%
⑤ 依頼する事業者がわからない	10	4.3%
⑥ 持ち家でないため設置できない	30	12.9%
⑦ 太陽光発電に関心がない	9	3.9%
⑧ その他	10	4.3%
合計	232	



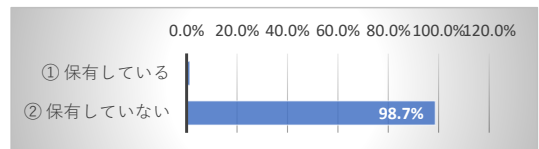
「⑧その他」の記載事項

- 家の日当たりが悪いので設置しても効率的でない
- 廃棄方法や伴う費用が明確でない。子供に廃棄費用の負担が大幅にかかるなら導入は難しいため。
- 手がまわらない
- 日照に問題がありあまり期待できない。費用対効果を考えるとできない。
- 太陽光パネルは電力をつくるのにはエコかもしれないが、その処分は簡単には出来ず、トータルで考えるとエコではないため。
- 積雪期は役に立ちません
- 蓄電池の導入費用が高い、先々に訪れるであろう廃棄時のリスク
- 処理が大変と思う
- 家の外観を損ねる

5 電気自動車 (EV) について

問9 ご家庭の電気自動車(EV)の保有状況について

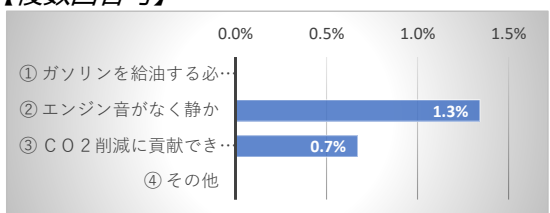
回答	件数	割合
① 保有している	2	1.3%
② 保有していない	149	98.7%
合計	151	



【対象者：問9で「保有している」と回答した方】

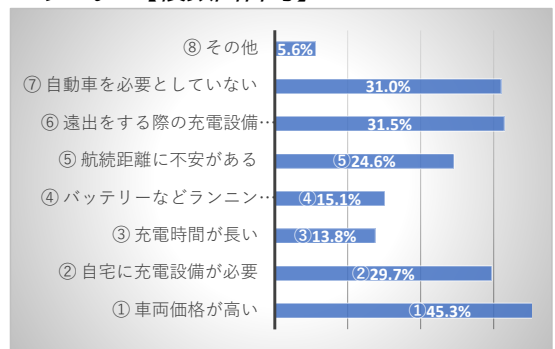
問9-1 電気自動車を保有していて良かったと思う点について 【複数回答可】

回答	件数	割合
① ガソリンを給油する必要がない	0	0.0%
② エンジン音がなく静か	2	1.3%
③ CO2削減に貢献できていると実感できる	1	0.7%
④ その他	0	0.0%
合計	3	



問9-2 電気自動車の購入についてのネック・課題は何だと思われますか。【複数回答可】

回答	件数	割合
① 車両価格が高い	105	45.3%
② 自宅に充電設備が必要	69	29.7%
③ 充電時間が長い	32	13.8%
④ バッテリーなどランニングコストの不安	35	15.1%
⑤ 航続距離に不安がある	57	24.6%
⑥ 遠出をする際の充電設備の不安	73	31.5%
⑦ 自動車を必要としていない	72	31.0%
⑧ その他	13	5.6%
合計	456	



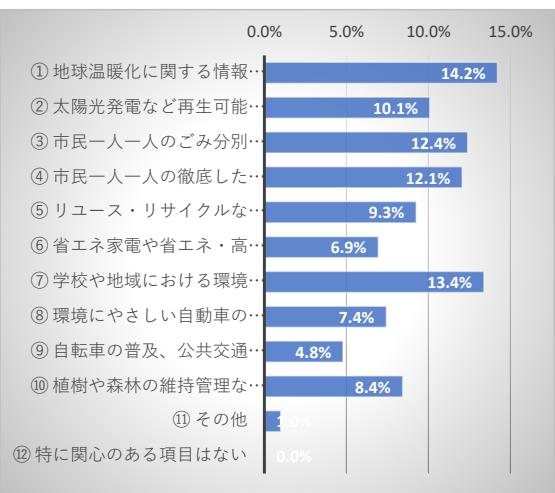
「⑧その他」の記載事項

- 購入の予定なし
- 好きな車がない
- 興味が無く好きではない
- 欲しい車のタイプにEV車のラインナップがない
- 現在乗っている車がまだ調子が良い
- 納車時期が未定で購入の目処が立たない
- そもそも脱炭素の観点から言えば、現段階では非効率であり、環境負荷はEVの方が大きい
- 電気自動車に買い換えたいが好きなデザインの車がない
- 本来であればハイブリッド車で十分な対策であった
- 求める形での車両が発売されていない

6 ゼロカーボンシティかのやの実現に向けて

問10 国の「2050年カーボンニュートラル」、市の「ゼロカーボンシティかのや」の実現に向けて、重要だと思うことを選んでください。【複数回答可】

回答	件数	割合
① 地球温暖化に関する情報のより一層の普及啓発	86	14.2%
② 太陽光発電など再生可能エネルギーの利用促進	61	10.1%
③ 市民一人一人のごみ分別の徹底	75	12.4%
④ 市民一人一人の徹底した省エネ行動	73	12.1%
⑤ リユース・リサイクルなど4R運動の推進	56	9.3%
⑥ 省エネ家電や省エネ・高断熱住宅の普及	42	6.9%
⑦ 学校や地域における環境学習の充実	81	13.4%
⑧ 環境にやさしい自動車の普及	45	7.4%
⑨ 自転車の普及、公共交通機関の充実	29	4.8%
⑩ 植樹や森林の維持管理などCO2吸収源の保全	51	8.4%
⑪ その他	6	1.0%
⑫ 特に関心のある項目はない	0	0.0%
合計	605	

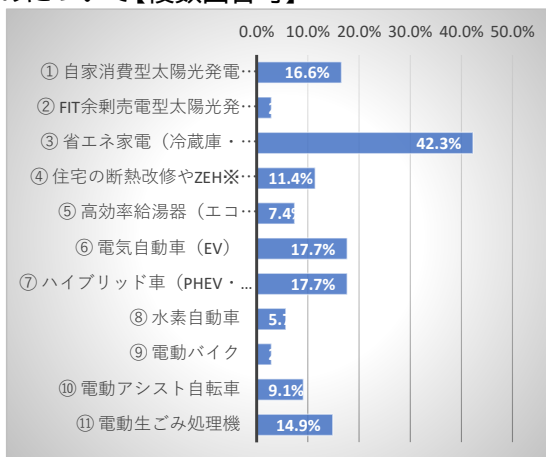


その他の意見

- 原発の活用。原発は活動してようが、停止してようが危険性は同じなので、使用した方が経済的に環境的にも良いと思う。ちゃんと住民に説明すべき。
- 特に関心がない
- もっと詳しく、情報を市民に知らせる。例えば、過去の二酸化炭素数値、現在の数値、このままいけば未来の数値、それに伴う被害の比較等を目に見えるように報道し、市民全員が意識出来るようにする。おそらく、私の様な人が多いと思います。聞いた事があるが、具体的に皆んなで何を取組むか？ 先ずは何か1つ2つ大きな取組みを鹿屋市で決めてそれに向かって行動してはどうですか。
- 子供もですが、広い年代向けにファクトベースの中立的な環境問題の学習機会があればいいと思います。
- ゼロカーボンシティという、言葉自体を初めて聞いたため。より多くの方に周知していくことが重要であると考えます
- CCSやCCUS、水素生成、再エネ設備等の施設誘致

問11 ご自宅で今後購入を検討している、又は現在関心があるものについて【複数回答可】

回答	件数	割合
① 自家消費型太陽光発電設備+蓄電池	29	16.6%
② FIT余剰売電型太陽光発電設備	5	2.9%
③ 省エネ家電(冷蔵庫・エアコン等)	74	42.3%
④ 住宅の断熱改修やZEH※4化	20	11.4%
⑤ 高効率給湯器(エコキュート・エコジョーズなど)	13	7.4%
⑥ 電気自動車(EV)	31	17.7%
⑦ ハイブリッド車(PHEV・HEV)	31	17.7%
⑧ 水素自動車	10	5.7%
⑨ 電動バイク	5	2.9%
⑩ 電動アシスト自転車	16	9.1%
⑪ 電動生ごみ処理機	26	14.9%
合計	260	



7 自由意見

問12 その他、地球温暖化対策の必要性や脱炭素社会の実現に向けたご意見がありましたらご記入ください。

その他の意見

○太陽光発電設備の設置補助金を出すなど、もっと市として取組を強化すべき

○地球温暖化は、未来に生きる子供のとても重要な問題であると思う。

○公共交通機関の存在と充実

○温暖化対策としては原発は必要で、火力発電はゴミの焼却での発電、プラごみは分別せずに焼却へ、生ゴミが家庭から多くでているので、プラごみがあった方が燃えやすい。火力発電の余計な燃料削減にもなる。生ゴミを分別すればゴミは燃え易くなるので、プラごみはリサイクルできる。大規模太陽光発電は森林の伐採、使用済み後の処分問題があるので、環境に良いとは余り思わない。地熱発電、風力発電の方がまだ環境には良いと考えます。原発に関してはもうすでにある物なので、停止してもその中身は活動しているので、使用しないと無駄です。建物の老朽化、原発に代わる発電の開発まででの繋ぎとしての運用。

○鹿屋市に数年前に引っ越してきたのですが、田舎だからといって車移動が多すぎます。一台車を持っていますが、夫が使用するので私はバスをよく利用します。利用しているとおじいちゃんおばあちゃん達が利用しない理由がわかります。ノンステップバスが一台もありません汗すごい急な段差を3段ほど登らないとバスに乗り込めないのが、高齢者の利用がかなり低いと思います。くるりんバスはあまり利用しないのでわかりませんが、改造する費用が高く最新型に出来ないのかもしれないので市の方でいわさき交通の支援をお願いします。

○世界的な森林火災や戦争等テレビでみてがっかりしています。その結果の水害や猛烈な台風、猛暑など嬉しいと思える事が少なくなりました。一人一人の対策だけで間に合うのでしょうか？今はとにかくやれる事を続けたいです。

○市民の人の中には関心を持つ前に、取り組んでいる事を知らない人もたくさんいると思うので、そのような人にもカーボンニュートラルについて知ってもらい、1人でも日々の生活を少しでも改善してもらうことが大事だと思う。なので、『ゼロカーボンシティか』知ってもらえるように、いろんな人が集まる、お祭りやイベントなど、市役所が関わっている行事で、毎回の様に宣伝するなど、知らせる努力を怠らないで続けるといいと思う。

○私たちがすぐにできそうな行動への「効果」を、具体的に知る機会があると良いかも。例えば、1日〇分テレビを消したら〇〇円節約できる、とか？ペットボトルやプラスチックなどのリサイクル品を持ち込んだらエコポイントが付き、スーパー等で割引サービスを受けられる等、みんなのやる気に繋がる仕掛けを作る。

○このアンケートの設問を読む限りでは、電気自動車や太陽光パネルが普及すれば脱炭素社会が実現できるという前提になっているように思いますが、話はそんなに単純ではありません。例えば電気自動車ですら電気も、現在のわが国の火力発電の多さを考えれば必ずしもエコではなく、太陽光パネルの多くは中国で石炭火力由来の電気を使って製造されており、寿命が来た太陽光パネルのリサイクルのしにくさも問題になっています。

○鹿屋の取り組みがあまり見えない

○家庭排出生ごみを減らすために各家庭にコンポストを普及させ、作られる堆肥を市内の農家が受け入れる。コンポストの購入費用は、市内の農家が購入する馬糞牛糞鶏糞の費用の一部をコンポストの資材購入費に充てる。市民は、堆肥を作成することで生ごみが減り、農家はその堆肥を使用する。など、いいような気がします。

○一人一人の意識がそれに向かわない限りは地球温暖化に歯止めをかけることは出来ないと思いますし、進んでいく一方だと感じてます。小さな努力かもしれませんが、一人一人が取り組むことそして、企業や各国がその実現に向かって取り組むことでいつまでも住むことが出来る地球が保たれるのではないかと思います。

○雑木林を伐採して栄養の無いシラスを入れて、太陽光発電場を作ることには、疑問があります。雑木林は生態系が自然であり子供達が自然の大切さを学ぶ場所にもなります。また、CO2を削減する植物を伐採して太陽光発電を作るのには、疑問があります。

○EV購入の補助金創設